



● 水富地区第5期住居表示を実施

水富地区住居整備等整備事業の第5期として、約41.2haの区域(上広瀬土地区画整理事業地内:図面参照)の住居表示を11月1日に実施する予定です。大字上広瀬・下広瀬の一部地域が、広瀬台一・二・三丁目、広瀬三丁目、広瀬東四丁目に変更となります。

住居表示実施区域



問合せ都市計画課へ内線2216

● 圏央道に「狭山PA」がオープン

首都圏中央連絡自動車道に、初めてのパーキングエリアとなる「狭山PA」がオープンします。



開業日時7月18日、12時 開業場所大字笹井地内 施設概要 駐車場(大型車32台、小型車44台) トイレ 店舗(7時~21時) 内回り(中央道方面)と外回り(関越道方面)にそれぞれ設置
問合せ都市計画課へ内線2214

● 自治体総合フェア2008に公式モバイルサイトの取り組みを出展

7月16日から18日まで、東京ビッグサイトで開催される自治体総合フェア2008に、狭山市公式モバイルサイトの取り組みが出展されます。これは、電子行政サービスの推進を図ることを目的とした展示会で、市の取り組みが先進的なものとして紹介されます。

問合せ広報課へ内線7161



高齢者保健福祉・介護保険に関する調査結果を公表

市では平成19年11月から20年1月にかけて、65歳以上の方(要介護・要支援認定を受けている方、居宅介護支援事業者、介護予防支援事業者を対象に、介護保険サービスの利用状況、サービスに対する評価、高齢者の保健福祉施策などに関する意識調査を実施しました。調査にご協力をいただきました皆さん、ありがとうございました。

■ 全部で6調査を実施

今回の調査は、現在の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を見直し、平成21年度から23年度を計画期間とする新たな計画策定の基礎資料にするために行ったもの

です。

介護保険サービス利用件数など、数値や利用実績からだけでは把握できない対象者などの意向を確認するために6つの調査を行いました。調査結果の主なものをお知らせします。

基礎資料にするために行ったもの

市長随想



狭山市市長 仲川幸成
似顔絵・池原昭治氏

夏の夜に想う^{おも}

童心に帰るとき、いつも行き着くところは自分の生まれ育った人曾の風景です。

夏、庭からの焼け込みを防ぐため、麦わらを敷いた庭に縁台を出し、夕涼みをした記憶が甦ります。

満天の星空、空気の澄んだ日は天の川が姿を現し、その時決まって祖父は彦星と織姫の七夕の話を

調査結果の概要

調査名	高齢者保健福祉に関する調査	在宅要介護等認定者調査	施設入所要介護等認定者調査	介護保険サービス利用動向調査	居宅介護支援事業者等に関する調査[事業所]	居宅介護支援事業者等に関する調査[介護支援専門員]
調査対象	要介護・要支援の認定を受けていない65歳以上の方	在宅の要介護・要支援認定者	施設に入所している要介護・要支援認定者	要介護等認定更新者中、在宅でサービスを利用している方	市内の高齢者などにケアプランを作成している居宅介護支援等事業所	市内の高齢者などにケアプランを作成しているケアマネジャー
配布票数	2,590件	2,707件	715件	579件	35件	96件
有効回収票数	1,750件	1,618件	414件	430件	27件	78件
有効回収率	67.6%	59.8%	57.9%	74.3%	77.1%	81.3%

■ 認知症高齢者への取組みとして必要なこと

高齢者保健福祉に関する調査から回答の中の第一位は、「認知症の予防法の普及」の54.7%で、第二位は「相談機関の充実」の46.8%でした。続いて「治療法、介護方法等の普及」43.3%、「認知症高齢者向けの介護等サービスの充実」36.8%、「地域社会全体での気付き・見守りができる体制作り」25.3%という結果になりました。

■ 介護保険制度の充実に必要なこと

在宅要介護等認定者調査から回答の中の第一位は、「サービスを担う人材の資質を高める」の44.9%で、次が「在宅介護を支えるための施策を充実」の36.0%でした。さらに、「情報提供の充実」34.4%、「認知症高齢者などの自立支援サービス」を普及「32.9%」、「介護予防の施策を充実」23.1%の順となっています。

施設入所要介護等認定者調査から最も回答が多いのは、「サービスを担う人材の資質を高める」の70.3%でした。次に多いのは「認知症高齢者などの自立支援サービス」を普及「35.5%と続いています。さらに「情報提供の充実」の31.4%、「介護予防の施策を充実」の30.2%、「介護保険の苦情・相談への対応を充実」の29.5%の順です。いずれの調査も複数回答を求められています。

■ 調査結果を踏まえ 計画策定を進めます

今回の調査で、認知症高齢者が増加傾向にある現在、要介護・要支援認定を受けていない65歳以上の方に、認知症高齢者に対する取り組みとして必要なことを伺ったところ、最も多かった回答が、「認知症の予防法の普及」でした。また、要介護等の認定を受けてサービスを利用されている方に、介護保険制度の充実に必要なことを伺ったところ、最も多かった回答が、「サービスを担う人材の資質を高める」でした。

市では、これらの調査結果を計画策定の参考にし、今後の良質な介護サービスの確保と提供に努めていきます。さらに高齢者の相談機関の充実、効果的な介護予防の推進などを図っていきます。

なお、調査結果の全部は、市役所行政資料室でご覧いただけます。また、ダイジェスト版は、公式ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

問合せ高齢介護課へ

内線 1551

市長の主な動き

- 6/2...定例記者会見
- 6/4~19...狭山市議会第2回定例会 6/11
- ...住宅協会評議員会
- 6/14...地域防犯推進委員委嘱式 6/15
- ...あじさい祭り並びに国際交流の集い 6/17...基地対策協議会総会
- 6/20...定例庁議 6/25...環境浄化功労者表彰式
- 6/25・26...ふれあい市民懇話会 6/26...白寿訪問
- 6/30...辞令交付式



してくれました。その七夕は、作物にとって夏の雨を乞う祭事なのに、雨が降れば人間川の七夕まつりに行けないので、子ども心に雨の降らないことを願ったものでした。

しかし、近年、天の川どころか星の数がめっきり減りました。産業が活性化して田畑や山林が住宅地や工場に開発され、たくさん電力消費によって明るい夜になったこと、大気汚染物質などにより、透明度が低下したことなど、環境の変化が原因です。二酸化炭素などの排出による地球温暖化は、海面の上昇や動植物の分布、生態系に大きな影響を与えています。

先般開催された環境サミット、難しいことではありますが、地球人として一人ひとりが意識を持って行動することが大切です。

このころ、星の歌が少なくなつたのも、時の流れでしょうか。